

KIDS センター Cafe



with たねラボ



第1回 あそびが育む役割感

ブロックなどを素材として使って、誰かと一緒に表現を楽しむ体験が、わたしたちの心に与える影響を研究しています。研究の結果から、一人ではなく、誰かと協力して表現あそびをすることが、役割感を育むことがわかりました。たとえば、一緒にブロックを探す、「どうぞ」「ありがとう」とブロックの受け渡しをする、「できたねー！」と一緒に喜ぶという体験が、自然な役割感のめばえになり、満足感につながります。

さらに、こうした体験を積み重ね、自分の役割があるという感覚をもつことは、将来の子どもたちの自信や安心感にもつながります。KIDS センターでは、親子で一緒に楽しめるブロック教室を開催しています。教室は現在はお休みしていますが、またみなさんと一緒にできることを楽しみにしています。

ブロックに限らず、積み木や人形、乗り物など、家の中にある身近なおもちゃを使って、親子で一緒に表現あそびを楽しむことができます。特別なことでなく、ならべたり、動かしたり、近くで一緒に楽しんでもくれる人がいるだけで、子どもにとってはかけがえのない体験になります。

ぜひ、毎日の中のちょっとしたやりとり遊びを、お子さんと一緒に楽しんでいただけたらと思います。

たねラボは、金城学院大学 加藤大樹研究室による、心理学の研究成果を地域にわかりやすく伝えていく取り組みです。

